

令和7年「11月号」競書成績表

○は昇級、写は写真版（写：半紙、㊤：条幅）  
☆は最優秀賞

【臨書】

「特待生」

㊤ 銭谷ふさ子  
☆㊤ 福谷奎玉  
写 饗庭啓良  
☆写 山田華生  
伊藤 錦泉  
奥田 喜代  
落川富美子  
杉橋多恵子  
鈴木 天雷  
角田 朋子  
高木 尚月  
辻 洋虹  
中川 秀子  
中田 光風  
中村 淳風  
中村 瑤皓  
松本 雪華

「天」

㊤ 多賀 春陽  
㊤ 高澤 芳枝  
☆㊤ 野村 和峯  
☆写 清水 煌風  
写 長宗 康華  
写 西山 玲風  
写 橋本ふく江  
写 畑 恵華  
写 平井 汀華  
青谷 光恵  
荒堀 順子  
太田 芦翠  
小川 敬子  
川島 花音  
岸本 響心  
呉屋由紀子  
鈴木 香心  
田中 久華  
苗代 眞紀  
中川 恭子  
中村 万華  
西川 芦雪  
古市 眞隆  
古谷 充江  
松井 桜華  
松宮 公子  
水口 千景  
山中 静子  
渡邊 紀子

「地」

浅田 幸子  
臼井 寿子  
卯田 和美  
梅田 花秀  
太田垣 絹代  
大塚 夕照  
岡田伊都子  
桂田 秋邨  
川口 栄子  
河原田 由記  
久保 貞雄  
桑原 佳子  
小宮 千風  
齊藤 翠真  
酒井 知里  
佐々木 智子  
澤田 幸子  
清水 郷子  
清水 梨紗  
白井 正通  
高島 佐知  
谷田 良子  
谷本 郁子  
玉野 文子  
寺岡 和代  
寺田 春之  
中西 明美  
仁賀 英子  
西尾 恵子  
増本 令子  
松井 萌翠  
三矢千代美  
宮川 靖子  
山本 登代

【短歌の部】

写 梅田 花秀  
写 桂田 秋邨  
写 呉屋由紀子  
☆写 清水 煌風  
写 杉橋多恵子  
写 鈴木 天雷  
写 角田 朋子  
写 銭谷ふさ子  
写 辻 洋虹  
写 中川 秀子  
写 中司 露風  
写 中田 光風  
写 西川 芦雪  
写 西山 玲風  
写 野村 和峯  
写 平井 汀華  
写 松井 萌翠  
写 松宮 公子  
写 渡邊 紀子  
写 饗庭 啓良  
青谷 光恵  
浅田 幸子  
荒堀 順子  
伊藤 錦泉  
植田 昌枝  
臼井 寿子  
卯田 和美  
太田 芦翠  
大塚 夕照  
岡田伊都子  
小川 敬子  
奥田 喜代  
落川富美子  
川口 栄子  
川島 花音  
河原田 由記  
北川扶美子  
小宮 千風  
酒井 知里  
清水 郷子  
清水 梨紗  
白井 正通  
鈴木 香心  
多賀 春陽  
高木 尚月  
高澤 芳枝  
高島 佐知  
竹田ま さ代  
田中 久華  
田中 裕子

谷田 良子  
谷本 郁子  
玉野 文子  
苗代 眞紀  
中川 恭子  
中西 明美  
長宗 康華  
中村 万華  
中村 瑤皓  
仁賀 英子  
西尾 恵子  
橋本ふく江  
畑 恵華  
古市 眞隆  
古谷 充江  
松井 桜華  
松本 雪華  
水口 千景  
三矢千代美  
宮川 靖子  
宮本由美子  
山中 静子  
山本 登代

## 【選 評】

### <臨書>

#### 総 評

普段の臨書の取り組みが積み重なっていることが感じられ、この継続が大輪の花となります。  
提出メンバーの固定化が見られるので、新たな方の提出をお願いしたい。

#### 最優秀作品

野村 和峯

曹全碑の特徴を良く捉えられている。山場の「聲」のダイナミックさが素晴らしい。

清水 煌風

すっきりとした線で、落ち着いた作品です。

### <臨書・特待生>

福谷 奎玉

古典に忠実に書かれており、線質も生き生きとしている。

山田 華生

文字の大小のバランスやカスレが素晴らしい。

### <短歌・短文>

#### 総 評

皆さん、字は上手くなっていますが、文字の配置で惜しい方がおられました。下敷きを工夫してください。

#### 最優秀作品

清水 煌風

文字の大きさ、配置も素晴らしい。落款まで行き届いています。

### <審査員>

西川桂邨 辻洋虹 井戸菊江 澤井双竹 饗庭啓良 駒井高樹  
鈴木天雷

### <お知らせ>

- ・12月号は「調和体・実用の書」の提出月です。(12月27日〆切)  
年末年始の関係で、審査を締切り日の翌日に行ないますので、提出が遅れないようにお願いします。
- ・臨書の提出作品には、どの法帖を臨書したかを作品の左上に記載願います。